

第1号議案 1-1

平成28年度（平成28年1月1日～12月31日）に係る報告

1-1 平成28年度に係る事業報告および計算書類

<事業報告>

1. 総括

- ① 2016年度色材研究発表会を平成28年10月13日、14日の2日間にわたり、大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館にて大阪大学大学院工学研究科との共催で開催した。特別講演1件、茂木記念講演1件、招待講演1件、一般研究発表44件、ポスター発表47件の充実した内容となった。参加者数は180名で、懇親会には53名の参加を得、盛況のうちに終了した。

優秀講演賞、優秀ポスター賞の表彰：上記発表会閉会後に選考を行い、優秀講演賞9件、優秀ポスター賞10件を表彰した。

- ② 2016年度研究発表会開催に先立ち、実行委員会を設立し、準備、実行、まとめのため合計7回開催した。

- ③ 機関誌である色材協会誌を年12回定期刊行しました。年間の総ページは445ページ、うち研究論文10件、技術論文1件、ノート3件、資料1件、解説19件、総説11件、講座20件、サロン14件、部会・研究会活動報告5件。毎号1,700部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈した。またアクセス数をもとに2015 Most Accessed Paper/Review Awardの表彰を行った。

色材協会賞の表彰：上記2016年度色材研究発表会開催期間中、色材協会論文賞1件を表彰し、受賞者による記念講演が行われた。技術賞は該当なしであった。

色材協会誌表紙デザインの表彰：平成29年に色材協会は創立90周年を迎え、その記念行事の一環として色材協会誌の表紙デザインを公募し、133件の応募の中、最優秀賞1件、優秀賞2件を選考し、2016年度色材研究発表会で表彰した。

- ④ 国際交流：今年度5/25-26、英国バーミンガムで開催されたOCCA/ETCC (FATIP EC) Congress 2016 & CSI Meetingに橋本会長が参加し各団体との交流を深めた。また、2017年のCSI会議の日本での開催が決まった。

2. 会員の構成

平成28年度の年度初めと年度末との会員数は次のとおりである。

| | 平成28年1月1日 | 平成28年12月31日 |
|------|-----------|-------------|
| 維持会員 | 155名 | 155名 |
| 正会員 | 807名 | 834名 |
| 学生会員 | 67名 | 93名 |
| 公共会員 | 12名 | 11名 |
| 合計 | 1,041名 | 1,093名 |

3. 組織・機構・会議

3.1 役員および名誉会員（平成 28 年 12 月 31 日現在）

| | 計 | 関東 | 関西 | 中部 | |
|------|----|----|----|----|--|
| 理事 | 48 | 32 | 11 | 5 | 会長 橋本 和明 副会長 小川 哲夫（本部担当） 副会長 佐野 秀二（関東支部） 副会長 小林 敏勝（関西支部） 副会長 高橋 鉦次（中部支部） |
| 監事 | 3 | 3 | 0 | 0 | 村田耕一郎、保坂洋、服部俊雄 |
| 名誉会員 | 25 | 14 | 8 | 3 | 中岡俊雄、吉田豊彦、岸直行、熊野勇夫、 小島正文、土井幸夫、篠原稔雄、村田耕一郎、 桂宏光、関根功、伊藤征司郎、筒井晃一、 畑宏則、保坂洋、中澄博行、桑野浩一、 藤谷俊英、松田充弘、阿部正彦、坪田実、 福田博行、服部俊雄、長沼桂、川島徳道、 森史郎 |

3.2 本部・支部および事務局（平成 28 年 12 月 31 日現在）

| | | |
|------|---|---|
| 本部 | 会長 橋本和明 副会長 小川哲夫 事務局 的場隆夫 生沼映子 小田愛子 久島未央 | 東京都渋谷区恵比寿三丁目 12 番 8 号 東京塗料会館 201 号室 〒150-0013 電話 03-3443-2811 |
| 関東支部 | 支部長（副会長）佐野秀二 | 同上 |
| 関西支部 | 支部長（副会長）小林敏勝 事務局 郷司春憲 | 大阪市北区東天満一丁目 9 番 10 号 大阪塗料ビル 2 階 〒530-0044 電話 06-6356-0700 |
| 中部支部 | 支部長（副会長）高橋鉦次 事務局 中部科学技術センター内 学協会合同事務局 | 名古屋市中区大須一丁目 35 番 18 号 一光大須ビル 7 階 〒460-0011 電話 052-231-3070 |

3.3 会議

3.3.1 平成 28 年度通常総会（2/26）

通常総会は、1号議案：平成 27 年度に係る報告（事業報告・決算報告・監査報告）および 2号議案：役員任期満了による新役員選任（理事：38 名）の件を承認した。また平成 28 年度事業計画および同収支予算が報告された。

総会後の特別講演は、元南極越冬隊長、元国立極地研究所教授 渋谷和雄氏に「南極観測にまつわる色いろいろ」と題してご講演頂いた。

3.3.2 理事会（2/26, 7/5, 11/16, H29 2/1） 4 回

3.3.3 企画運営委員会（3/24, 5/10, 9/16, 12/14） 4 回

3.3.4 編集委員会 12 回

3.3.5 経理委員会（5/10） 1 回

3.3.6 支部運営委員会 関西 4 回、中部 3 回

3.3.7 色材協会賞選考委員会（6/22） 1 回

3.3.8 監査委員会（1/24） 1 回

3.3.9 予算委員会（11/16） 1 回

3.4 委員会・部会・研究会

3.4.1 編集委員会 委員長：柴田雅史、副委員長：久司美登、勝山智祐、鳥越幹二郎

3.4.2 企画運営委員会 委員長：橋本和明

3.4.3 色材協会賞選考委員会 委員長：依田恵子（論文賞）、佐野秀二（技術賞）

- 3.4.4 広報委員会 委員長：小川修
- 3.4.5 顔料部会 部会長：吉岡浩正（関東支部）、橋詰良樹（関西支部）
- 3.4.6 塗料部会 部会長：中嶋由元（関東支部）、沼田収平（関西支部）
- 3.4.7 印刷インキ部会 部会長：浅見 博（関東支部）、深澤 明（関西支部）
- 3.4.8 インクジェット部会 部会長：滝沢吉久
- 3.4.9 顔料物性研究会 会長：船倉省二
- 3.4.10 木材塗装研究会 会長：戸山顕司
- 3.4.11 測色研究会 会長：武井昇
- 3.4.12 印刷インキ技術研究会 会長：藪野通夫
- 3.4.13 ホームページ委員会 委員長：須原常夫
- 3.4.14 2016年度色材研究発表会実行委員会 委員長：今中信人
- 3.4.15 色材協会創立90周年記念会議 組織委員長：橋本和明、実行委員長：小林敏勝

4. 委員会活動の概要

4.1 2016年度研究発表会実行委員会

平成28年度は以下の活動により準備、実行、まとめを行った。

実行委員会 20名（7回開催：H27 9/9、12/10、H28 3/2、6/2、9/6、9/28、12/7）

4.2 色材協会創立90周年記念会議

準備委員会 1回（9/16）

実行委員会 3回（10/13、11/16、12/14）

5. 行事および事業の概要

5.1 本部

5.1.1 編集事業

機関誌である色材協会誌を年12回定期刊行しました。年間の総ページは445ページ、うち研究論文10件、技術論文1件、ノート3件、資料1件、解説19件、総説11件、講座20件、サロン14件、部会・研究会活動報告5件。毎号1,700部を印刷して全会員に配布し、また交流団体機関に寄贈しました。またJ-STAGE上のアクセス数をもとにMost Accessed Paper/Review Awardの表彰を平成28年通常総会(2/26)で行った。さらに、色材協会創立90周年を記念し、色材協会誌の表紙デザインを公募し、研究発表会(10/13)で表彰した。

○2015 JSCM Most Accessed Paper Award

信州大学工学部 物質工学科 酒井俊郎・瀬尾桂太：

「乳化剤フリー油中水滴型(W/O)エマルションの分散安定性：油物性の影響」

J. Jpn. Soc. Colour Mater., 87 [11], 387-392 (2014)

○2015 JSCM Most Accessed Review Award

神戸大学大学院 工学研究科 南秀人・常誠・鈴木登代子：

「水素結合を利用した有機/無機複合粒子の作成」

J. Jpn. Soc. Colour Mater., 87 [10], 356-360 (2014)

○色材協会誌表紙デザインの表彰

平成29年に色材協会は創立90周年を迎えるにあたり、その記念行事の一環として色材協会誌の表紙デザインを公募し、133件の応募の中、最優秀賞1件、優秀賞2件を選考し、2016年度色材研究発表会で表彰した。最優秀デザインは2017年1月号から10年間色材協会誌の表紙を飾る。

*最優秀賞：

株式会社TCC 谷 弘和

*優秀賞：

日本ペイント・オートモーティブコーティングス株式会社 上林 由佳

フリーランスデザイナー 小和田育子

5.1.2 色材協会賞等の表彰 (10/13)

(論文賞)

- 「色素増感太陽電池への応用を施行したBODIPY骨格をもつスクアリリウム系色素」
大阪府立大学大学院 工学研究科 前田壮志、垣尾大輔、八木繁幸、中澄博行
(技術賞) 該当なし

5.1.3 2016年度色材研究発表会 (10/13-14、大阪大学豊中キャンパス大阪大学会館)

特別講演「近赤外線吸収色素を活用した技術と最前線」

大阪府立大学 21世紀科学研究機構 特認教授 中澄博行

茂木記念講演「染織－彩る色」

株式会社 瀧村美術織物 顧問 白井進

招待講演「Novel Functional Dyes and Their Application」

National Institute for Interdisciplinary Science and Technology (India)

Dr. A. Ajayaghosh

| | |
|-------------|-------|
| 一般研究発表 | 44 件 |
| ポスター発表 | 47 件 |
| 色材協会賞 (論文賞) | 1 件 |
| 優秀講演賞 | 9 件 |
| 優秀ポスター賞 | 10 件 |
| 参加者 | 180 名 |

5.1.4 研究会活動

- ・顔料物性研究会 (2/22、3/8、6/7、7/22、9/13、11/15 参加者延 60 名)
- ・印刷インキ技術研究会 (2/17、6/22、8/24、10/18、12/16 参加者延 101 名)

5.2 本部・関東支部

| 講座名 | 開催日 | 参加者 |
|-----------------------------|--------------------|--------------|
| 顔料分散講座 6 講 | 2/5 | 101 名 |
| 塗料講演会 5 講 | 5/13 | 52 名 |
| 印刷インキ講座 5 講 (大阪 TV 中継) | 5/19 | 58 名/大阪 28 名 |
| 第 57 回塗料入門講座 21 講 | 6/16. 17, 7/21. 22 | 108 名 |
| 印刷インキアドバンス講座 5 講 (大阪 TV 中継) | 10/5 | 23 名/大阪 6 名 |
| 第 41 回顔料物性講座 5 講 | 11/15 | 36 名 |
| 第 5 回塗料アドバンス講座 5 講 | 11/18 | 33 名 |
| 色材アドバンスセミナー2016 5 講 | 11/28 | 20 名 |
| 色材 I T 講座 12 講 | 12/8, 9 | 129 名 |

5.3 関西支部

| 講座名 | 開催日 | 参加者 |
|----------------------------|----------|------|
| 色材マテリアル講座 | 2/17 | 22 名 |
| 色材セミナー 4 講 | 6/17 | 28 名 |
| 色材分散講座 5 講 | 7/13 | 37 名 |
| 第 49 回塗料基礎講座 11 講 | 8/18, 19 | 48 名 |
| 色材講演会 5 講 | 11/9 | 13 名 |
| 見学会 (最少催行人員 (15 名) に届かず中止) | 12/8 | 中止 |

5.4 中部支部

| 講座名 | 開催日 | 参加者 |
|---------------------------------|---------|------|
| 色材セミナー 4 講 | 3/10 午後 | 36 名 |
| 色材オブザベーション (見学会) | 7/7 | 21 名 |
| 色材分析講座 6 講 | 9/26 | 16 名 |
| 第 47 回中部化学関係学協会支部連合協議会秋季大会 (豊橋) | 11/5, 6 | — |
| 色材アドバンスセミナー 5 講 | 12/16 | 27 名 |

5.5 関連学会・協会との共催・協賛による事業

| 行事名 | 主催 | 開催日 |
|--------------------------------|--------------|---------|
| 2015 印刷・情報記録・表示シンポジウム | 高分子学会 | 1/22 |
| 第 145 回ラドテック研究会講演会 | ラドテック研究会 | 1/26 |
| 第 20 回関西支部コロイド・界面実践講座 | 日本化学会 | 1/26 |
| 第 184 回腐食防食シンポジウム | 腐食防食学会 | 2/4 |
| 第 20 回省エネルギーセミナー | 紙パルプ技術協会 | 2/18～19 |
| 平成 27 年度 第 3 回講演会 | 日本塗装技術協会 | 2/19 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 2/25 |
| 2016 年冬期セミナー | 日本印刷学会 | 2/26 |
| 色彩講座基礎編 2015 | 日本色彩学会 | 2/27 |
| 第 31 回塗料・塗装研究発表会 | 日本塗装技術協会 | 3/3 |
| 第 73 回顔料工学講座 | 日本顔料技術協会 | 3/3 |
| 平成 27 年度 (公財) 神奈川科学技術アカデミー教育講座 | 神奈川科学技術アカデミー | 3/10 |
| 第 58 回顔料・色材 基礎講座 | 日本顔料技術協会 | 4/19～20 |
| 第 146 回ラドテック研究会講演会 | ラドテック研究会 | 4/26 |
| 第 69 回技術セミナー | 腐食防食学会 | 5/12 |
| 第 32 回現代コロイド・界面化学基礎講座 | 日本化学会 | 5/12～13 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 5/26 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 6/1 |
| 第 28 回木材塗装基礎講座 | 木材塗装研究会 | 6/2 |
| 第 21 回製紙技術セミナー | 紙パルプ技術協会 | 6/2～3 |
| 2016 電気化学セミナー2 | 電気化学会 | 6/6 |
| 2016 年度第 1 回P&I研究会シンポジウム | 日本印刷学会 | 6/8 |
| 第 147 回ラドテック研究会講演会 | ラドテック研究会 | 6/10 |
| 第 32 回現代コロイド・界面化学基礎講座 | 日本化学会 | 6/16～17 |
| 講話「レオロジー・クラシック」2016 | 日本レオロジー学会 | 6/17 |
| 第 44 回「感性研究フォーラム」講演会 | 繊維学会 | 6/18 |
| 第 13 回日本写真学会光機能性材料セミナー | 日本写真学会 | 6/20 |
| 第 27 回キャタリシススクール | 触媒学会 | 6/22～24 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 6/23 |
| 平成 28 年度 第 1 回講演会 | 日本塗装技術協会 | 6/24 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 7/6 |
| 第 36 回防錆防食技術発表大会 | 日本防錆技術協会 | 7/7～8 |
| 講習会 | 日本レオロジー学会 | 7/8 |
| 第 70 回技術セミナー | 腐食防食学会 | 7/12 |
| 第 27 回研究発表会 | マテリアルライフ学会 | 7/14～15 |
| 第 43 回コロージョン・セミナー | 腐食防食学会 | 7/20～22 |
| 第 40 回UV/EB表面加工入門講座 | ラドテック研究会 | 7/22 |
| 第 41 回UV/EB表面加工入門講座 | ラドテック研究会 | 7/26 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 8/3 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 8/25 |
| 平成 28 年度 アンコール大阪講演会 | 日本塗装技術協会 | 8/26 |
| 電気化学セミナー3 | 電気化学会 | 8/30～31 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 9/7 |
| 第 148 回講演会 | ラドテック研究会 | 9/7 |
| 日本油化学会第 55 回年会 | 日本油化学会 | 9/7～9 |
| 第 7 回「塗装入門講座」 | 日本塗装技術協会 | 9/8～9 |

| | | |
|--------------------------------------|-------------------------|------------|
| 第 54 回粉体に関する討論会 | 粉体工学会 | 9/12～14 |
| 第 67 回コロイドおよび界面化学討論会 | 日本化学会 | 9/22～24 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 9/29 |
| 第 71 回技術セミナー | 腐食防食学会 | 9/30 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 10/5 |
| 第 74 回顔料工学講座 | 日本顔料技術協会 | 10/5 |
| 第 59 回 2016 年紙パルプ技術協会年次大会 | 紙パルプ技術協会 | 10/5～7 |
| 第 36 回農薬製剤・施用法シンポジウム | 日本農薬学会 | 10/6～7 |
| 第 63 回材料と環境討論会 | 腐食防食学会 | 10/17～19 |
| 第 28 回高分子基礎物性研究講座 | 高分子学会 | 10/19 |
| 第 39 回鉄構塗装技術討論会 | 日本鋼構造協会 | 10/19～20 |
| 第 66 回ネットワークポリマー講演討論会 | 合成樹脂工業協会 | 10/19～21 |
| 第 21 回高分子分析討論会 | 日本分析化学会 | 10/20～21 |
| 第 14 回紫外線・電子線硬化技術国際会議 | RadTach Asia 2016 組織委員会 | 10/24～27 |
| 第 33 回製剤と粒子設計シンポジウム | 粉体工学会 | 10/27～28 |
| 第 63 回界面科学部会秋季セミナー | 日本油化学会 | 10/31～11/1 |
| 第 21 講「研究開発リーダー実務講座 2016」 | 近畿化学協会 | 11/2 |
| 第 63 回スガウェザリング学術講演会 | スガウェザリング技術振興財団 | 11/2 |
| コロイド先端技術講座Ⅱ | 日本化学会 | 11/7 |
| 第 64 回スガウェザリング学術講演会 | スガウェザリング技術振興財団 | 11/9 |
| 第 15 回食品レオロジー講習会 | 日本レオロジー学会 | 11/10～11 |
| 第 25 回構造接着シンポジウム | 日本接着学会 | 11/15 |
| 第 42 回腐食防食入門講習会 | 腐食防食学会 | 11/17 |
| 第 149 回ラドテック研究会講演会 | ラドテック研究会 | 11/22 |
| 日本技術士会化学部講演会 | 日本技術士会 | 11/24 |
| 2016 年度第 2 回P&I研究会シンポジウム | 日本印刷学会 | 11/30 |
| 国際粉体工業展東京 2016 | 日本粉体工業技術協会 | 11/30～12/2 |
| 第 36 回レオロジー講座 | 日本レオロジー学会 | 12/1～2 |
| 膜シンポジウム 2016 | 日本膜学会 | 12/1～2 |
| 塗る、刷る、printable! | 神奈川科学技術アカデミー | 12/2 |
| 溶接部の腐食トラブル防止事例講習会 | 腐食防食学会 | 12/5 |
| 第 23 回ディスプレイ国際ワークショップ/アジアディスプレイ 2016 | 映像情報メディア学会 | 12/7～9 |
| 第 185 回腐食防食シンポジウム | 腐食防食学会 | 12/8 |
| 講習会 | 日本レオロジー学会 | 12/16 |
| 日本技術士会化学部会講演会 | 日本技術士会 | 12/22 |

6. 外部機関との交流

6.1 国内機関

6.1.1 共同事業

5.5 で記したように、国内の各学協会などと共催・協賛で事業を行った。

6.1.2 交流

国内の 49 団体などと交流し刊行物の寄贈交換を行った。

6.2 海外機関

| 国名 | 機関名 |
|-------------|---|
| アメリカ合衆国 (4) | 1. A Division of the American Chemical Society Library 2. The Library of Congress 3. The Center for Research Libraries 4. Chemical Abstracts Service |

| | |
|-------------|--|
| ドイツ (3) | 1. Forschungsinstitut für Pigmente und Lacke 2. Universitäts Bibliothek Hannover und Technische Informationbibliothek 3. Vincentz Network GmbH & Co.KG |
| イギリス (2) | 1. Information Center PIRA International 2. The British Library |
| ロシア (2) | 1. Academy of Science of the Russian Library 2. All-Russian Institute of Scientific and Technical Information |
| 中華人民共和国 (7) | 1. THE International Exchange Section of the National Library of Peking 2. The Institute of Scientific Information, Academia China 3. Library, Exchange Section, Research Institute Of Chemical Processing and Utilization of Forest Products, Chinese Academy of Forestry 4. China National Chemical Information Center 5. China National Coatings Industrial Association 6. Changzhou Paint & Coatings Industry Research Institute Society of Coatings & Finishing of Ciesc 7. National Paint&Coatings Industry Information Center 7. The Editorial Office of Paint and Coatings Industry |
| イタリア (1) | Instituto di Chimica Industriale del Politedenico |
| オランダ (1) | TNO Industrie |
| シンガポール (1) | Chemical Technology Center, Technology Development Division, Singapore Productivity and Standards Board |

6.3 関連機関

| | |
|---------------|--|
| C S I | Coatings Societies International |
| F A T I P E C | Fédération d'Associations de Techniciens des Industries Des Peintures, Vernis, Émaux, et Encress d'Imprimerie De l'Europe Continentale. (Federation of Associations of Technicians for Industry of Paints in European Countries) |
| A C A | American Coatings Association |
| S C A A | Surface Coatings Association Australia |
| S C A N Z | Surface Coatings Association New Zealand |
| S L F | Skandinaviska Lackteknikers Forbund |
| (F S P V T) | (Federation of Scandinavian Paint and Varnish Technologists) |
| O C C A | Oil & Colour Chemists' Association |

7. 公益法人制度改革関連事項

昨年度の総会で報告した通り、平成 24 年 12 月 31 日に公益目的支出計画の実施完了の確認書を内閣府より受理しており、平成 28 年度事業報告書には記載事項はない。

8. 付属明細書

平成 28 年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。